

理数系学会教育問題連絡会の活動報告

2007年4月から教育担当理事として理数系学会教育問題連絡会に出席してきていますが、会員の皆様にお知らせした方がよいと考えられることがありますので短い報告とこれに関連する講演記録と要望書を掲載させていただきます。

理数系学会教育問題連絡会では、数学系、物理系、地学系、生物系、化学系の学会の間で幹事というか世話役を回してきていますが、2007年度は日本物理学会、2008年度は地球惑星学会連合、2009年度が日本数学会、2010年は情報処理学会が担当しました。2か月に一度会合があり、この4年間は主に初等中等教育の問題点に関する議論とそのまとめの取り扱いについて話し合ってきました。平成22年11月18日に日本学術会議公開シンポジウム「初等中等教育における理科・数学・技術教育～現状、課題及びその解決に向けて～」が開催され、報告者が行った講演「わが国の初等中等教育の問題点～理数系学会教育問題連絡会での話し合いを元に、歴史的視点も加えて～」の記録がありますのでご覧ください。

また、2010年には、「デジタル教科書をめぐって」議論もし、要望書を2010年11月1日に公開し、2010年12月7日に文部科学省生涯学習局に要望書が届けられ、説明がなされました。

以上

教育担当理事 真島秀行